



みのりの秋は、だれの顔にも明るさを与えてくれます。この明るさで、秋のよい文化、よいレクリエーションに親しみを持ちましょう。

石岡市報

9月号
第29号
毎月1回
30日発行

発行所 石岡市役所
石岡市大字石岡408番地
電話(代表) 38番
発行人 鬼沢賢造
人口と世帯(8月31日現在)
世帯数 7,256世帯
人口 { 男女計 17,496人
18,809人
36,305人



ひとひらの 赤い羽根

十月は、とりわけ行事の多い月ではあるが、私たちの生活の中に根深く入っているものに、赤い羽根共同募金がある。今年はこの運動が始まって以来十年を迎えたが、この赤い羽根を胸につけて、不幸な人たちの心を

(写真は府中中での募金運動)

市議会第三回定例会

傍聴席も満員

会議は深夜に及ぶ

市議会第三回定例会は二十日午後一時市議場で開会され、地方自治法の一部改正に伴う条例改正案など議案四件、選挙案二件、報告一件が原案とあり可決された。この日は、正副議長長の辞職、選任、常任委員改選などの重要案件が多く、深夜十時四十分まで続会となり、肌寒い秋の夜風に雑沓をきわめ、傍聴席の人々も襟を合わせていた。

正副議長ともに辞職
大手市会議長、三城副議長は、今回定例会市議会において辞職届を提出し、同日市議会はこれを承認した。

市では今回定例会市議会に八百五十万円の追加更正予算案を提出し、同案の議決をえた。更正予算案の主なもの、前年度への赤字充当額(予定額九百五十万)を二百二十万八千五百円に更正したのをはじめ、同案の議決をえた。

追加予算八百十五万円

市では今回定例会市議会に八百五十万円の追加更正予算案を提出し、同案の議決をえた。更正予算案の主なもの、前年度への赤字充当額(予定額九百五十万)を二百二十万八千五百円に更正したのをはじめ、同案の議決をえた。

新農村施設事業など

議長に大手氏再選
市議会は大手議長長の辞職承認に伴って、直ちに議長選挙の投票を行い、大手定保氏が再選された。

副議長は海老沢氏
三城副議長は新任大手議長あてに辞職届を提出したので、市議会はこれを承認の上、副議長選挙の投票を行った。その結果、海老沢雄雄氏が選任された。

常任委員決る

今回開かれた市議会で、次のとおり市議会常任委員が決定された。(注)印は委員長

- 印は副委員長を示す
- 総務◎古山康治◎石上仁一、三城教文、高野毅、大山久工門、海老沢良之、高橋倉蔵
- ▼文教厚生◎松本敏三◎飯田正雄、木村とよ、矢野文雄

め、新農村総合施設事業費補助七百八十万円、関川小校新築費二百三十九万九千円、教育施設組合交付金八十万円、土木用自動車購入費五十万、金丸道路舗装工事費四十五万等、この財源として国庫金の関川小校新築補助百七十五万、新農村建設施設事業補助五百六十万、消防自動車廃車処理代三十万、市債五十万等を計上している。

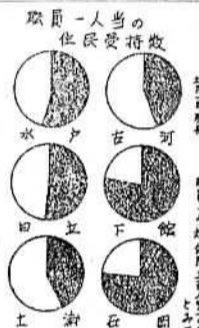
なお、市債で市役所車庫建設費百万円を予定していたが、才入増のため、一般財源から才出に更正した。

財政赤字の回復に曙光

だが経費は年々かさむ

市町村の財政において赤字がでるといふことは、収入が少なすぎるか、支出が多すぎたか、いづれにしても両者の均衡を失ったときであることは申すまでもありません。

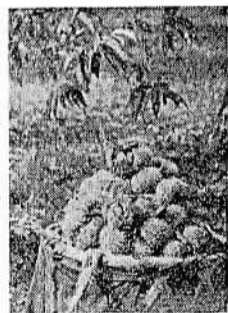
本市の才出入決算は、年々累積してきた赤字で、二十九年度には一千六十八万に達してしまいました。三十年年度に財政再建二ヶ年計画を強行



日本一の茨城県

茨城県は名実ともに日本一で、当地方がその主要生産地になつてゐる。

軽くて重く、産額七十二万貫、その約五分が当地方の産であるから、果ならざれば、本県では、アメリカ、カナダ等へ年間一千万貫程の輸出を行つてゐたが、最近その方は余り振わなくなり、専ら京浜地方へ四十万



貫が販売され、消費量の九割までが本県依存のようである。

全国二位の兵庫県が、年産二十万貫といふから、はるかにその量を引かなくてはならない。

は開運なし成田名物の栗ようかん、栗の原料も茨城産で約三万貫が移出されている。

ようだ。大正の末期から昭和の初期に植樹したものは樹齢もきているので、新植してこの名声を永く持続させたいものである。

住民登録の話

私たちが、誰でもどこかの場所一定の住所をもつています。住所とは人の生活の中心となる場所をいい、市の区域内に住所を有する者を市の住民といふ。

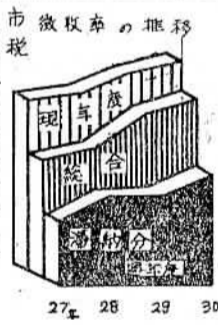
私たちの日常生活のうえで住民としての権利、義務は極めて多く、例えば、小学校に見

住民登録の制度

住民登録の制度は昭和二十七年七月一日に発足し、住所の移転について簡易な届出により取扱われていました。

住民登録は、市の住民を登録し、その居住関係を公証することを目的とし、法律をもつて全国の市町村が同じ手続方法に従つて相互に連絡して処理されています。

市役所に備え付けてある登録の台帳を「住民票」といい、各世帯を単位として作られ、各



たものともいいます。

しかし、実情は行政施策上その財源に障害が少なくなく、昭和三十年年度決算額は一億二千三百三十二万二千四百(一般会計)才出のうち人件費の占める割合は三四・二%、四千六百六十二万二千四百、これを昭和二十五年年度に比較すると実に二・五倍に達しています。しかし、人件費の占める割合は上図のとおりで、他市に比較して低額であります。

問題は人件費だけでなく、昭和二十五年以来、法の制定や国の新しい施策の実施などで一般財源を必要とする事態が次から次へと発生し、才出を増加させたこともいふまでもないことです。

収入財源の主たるものに市税がありその徴収成績は年々上昇し、現年度の調定額六千四百八十九万七千円に対し、徴

石岡公民館 結婚式

十月六日
櫻井利夫氏 (仲の内町)
寺田ヨシ子氏 (国分町)
十二月二日
小池 恒氏 (美野里村)
坂場知子氏 (若松町)

市職組でサービス週間

市職員組合は、市民各位に対するサービスを強調し、事務能力の向上を図るため、十月八日から六日間をサービス週間として各種行事を展開するが、特に市民相談所を開設、戸籍のこと、地代家賃のこと、土地のこと、生活相談等の各種相談に際することになつていく。相談される方は受付の案内員によつて係まで案内される。

